

表面処理技術のさらなるグローバル展開をめざして



2008年3月期
決算説明会用資料

荏原ユージライト株式会社

代表取締役社長 粕谷 佳允

2008年5月13日(火)

<http://www.eu.ebara.com/>

08/3月期 決算の概要

国内

海外

エレクトロニクス 産業

- MPUパッケージ基板向け銅めっき薬品の売上が増加
- 一般プリント配線板向け銅めっき薬品の売上も増加
- 電子部品向けスズめっき薬品の売上が増加

- 韓国におけるパッケージ基板向け銅めっき薬品売上が増加
- 中国におけるプリント配線板向け銅めっき薬品の売上が本格化
- 台湾の市況が回復

自動車産業

- 自動車の生産台数は国内向けが減少、輸出が増加
- めっき薬品の売上が横ばい

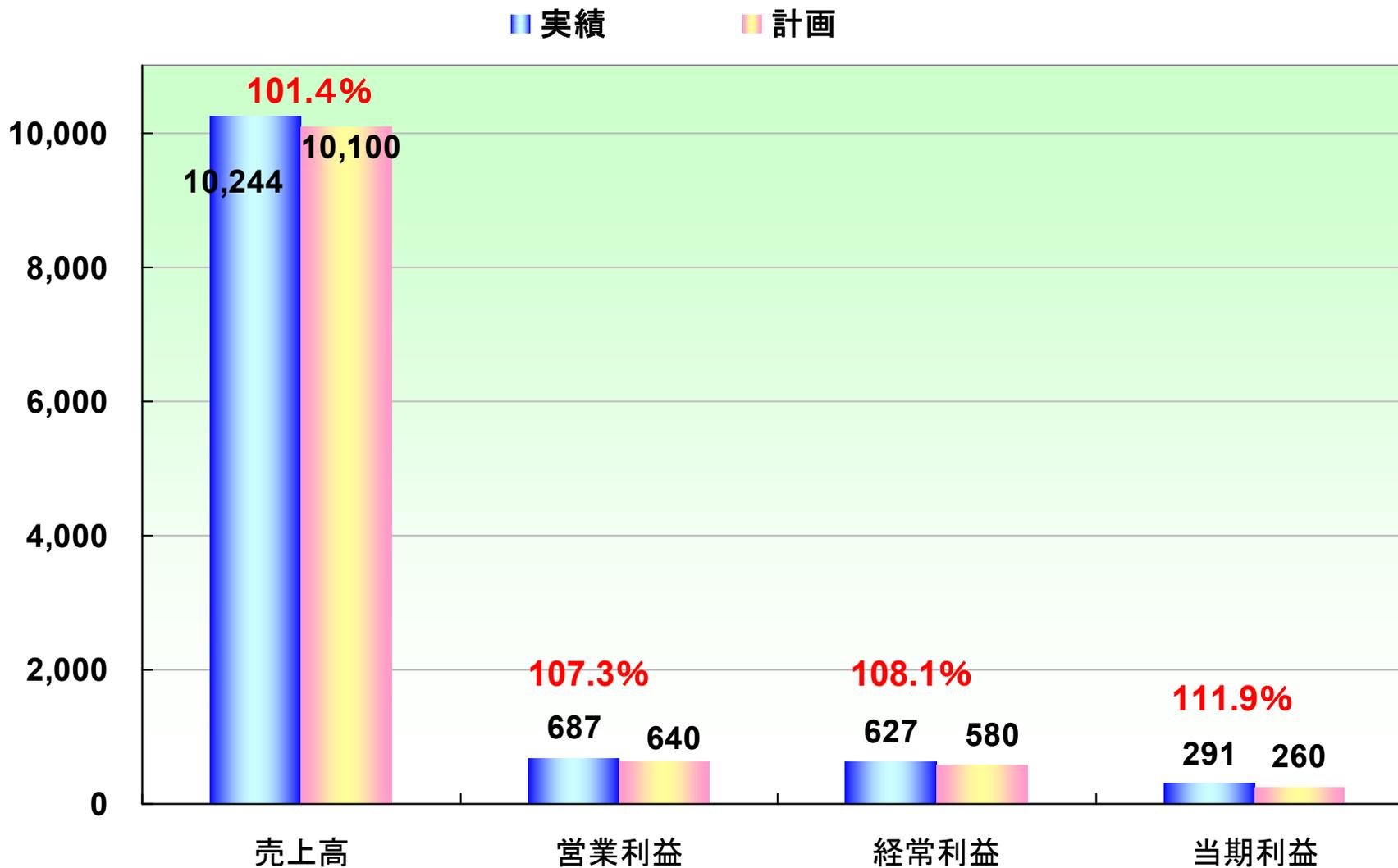
- 中国におけるめっき薬品の売上は4%増加
- 韓国におけるめっき薬品の売上は4%増加

08/3月期 決算



(単位:百万円)

売上・利益
目標達成状況



08/3月期の概況(連結)

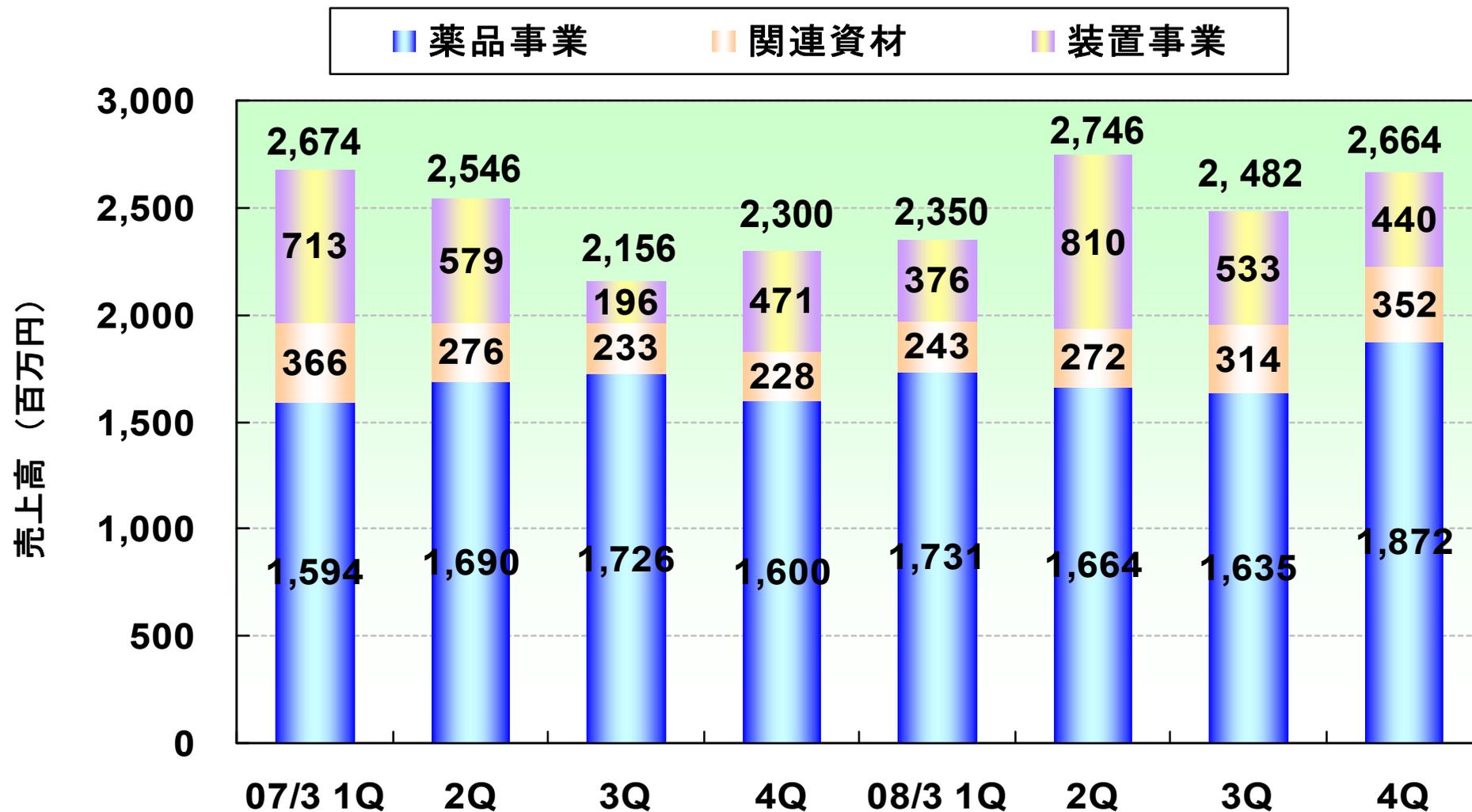


(単位:百万円)

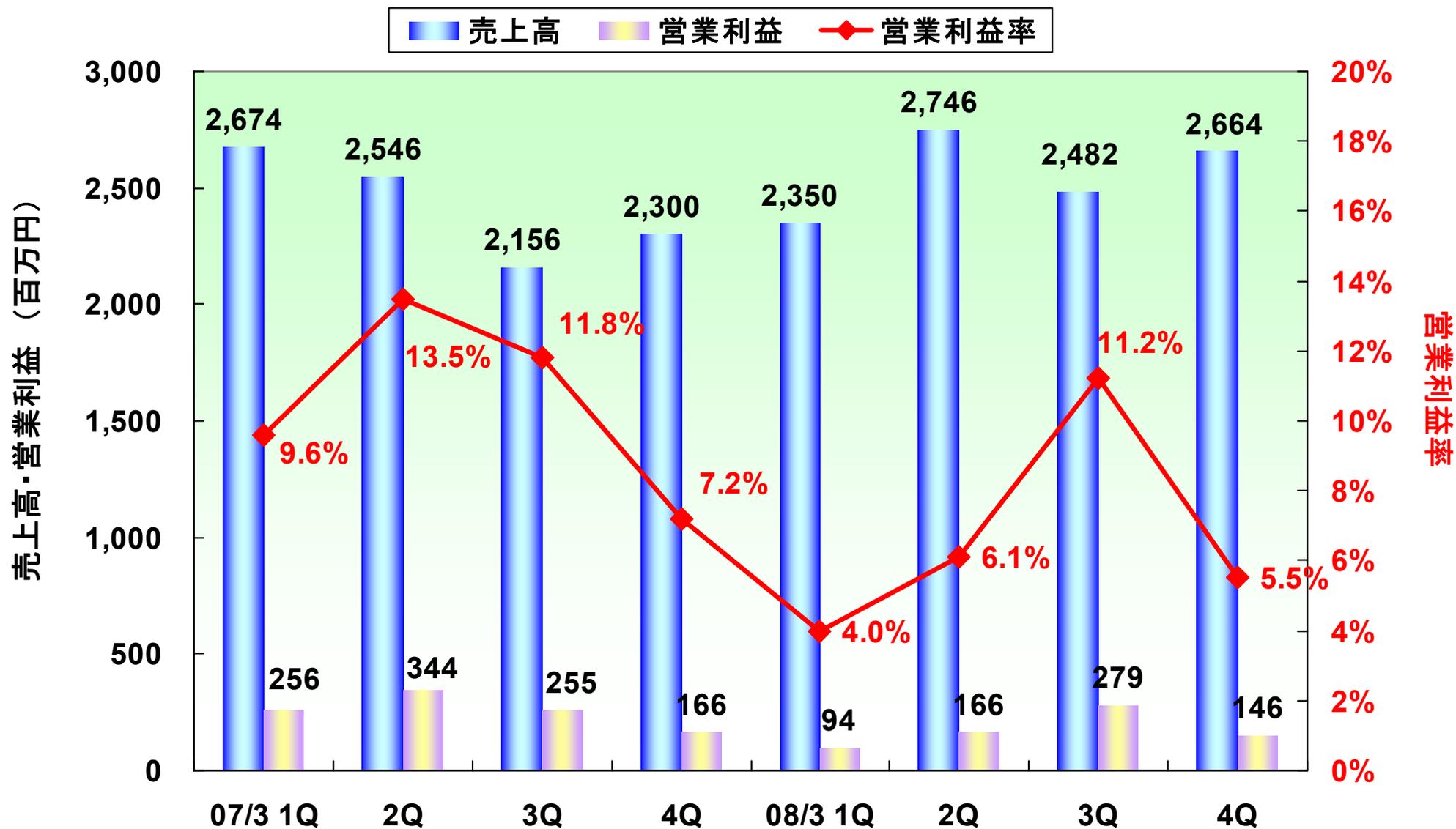
	07/3月期 4Q(参考)	08/3月期 4Q	対前年比 増減(%)	07/3月期 期末(参考)	08/3月期 期末期	対前年比 増減(%)
売上高	2,300	2,664	15.8	9,677	10,244 (約10,596)	5.9 (約9.5)
売上総利益	1,063	1,148	8.0	4,496	4,616	2.6
販管費	896	1,002	11.8	3,472	3,929	13.1
営業利益	166	146	△12.0	1,023	687	△32.9
経常利益	148	124	△16.2	1,008	627	△37.8
税引前利益	△16	104	—	1,545	573	△62.8
当期利益	22	87	295.4	911	291	△68.0

注: 現地法人化に伴い、08/3月期は台湾と韓国の08年1月、2月、3月の売上
(約3億52百万円)が連結されていません。

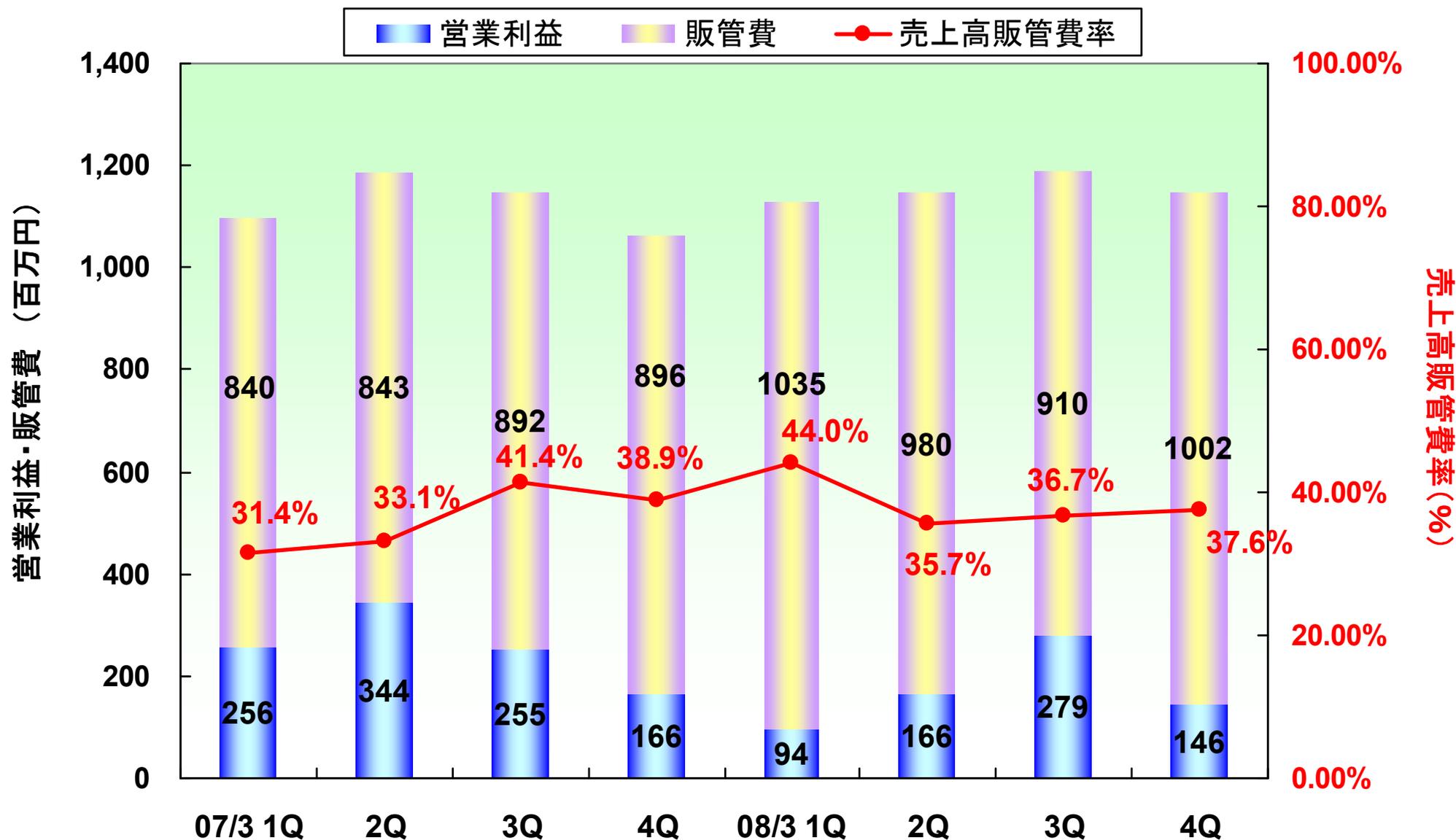
セグメント別売上高の推移(連結)



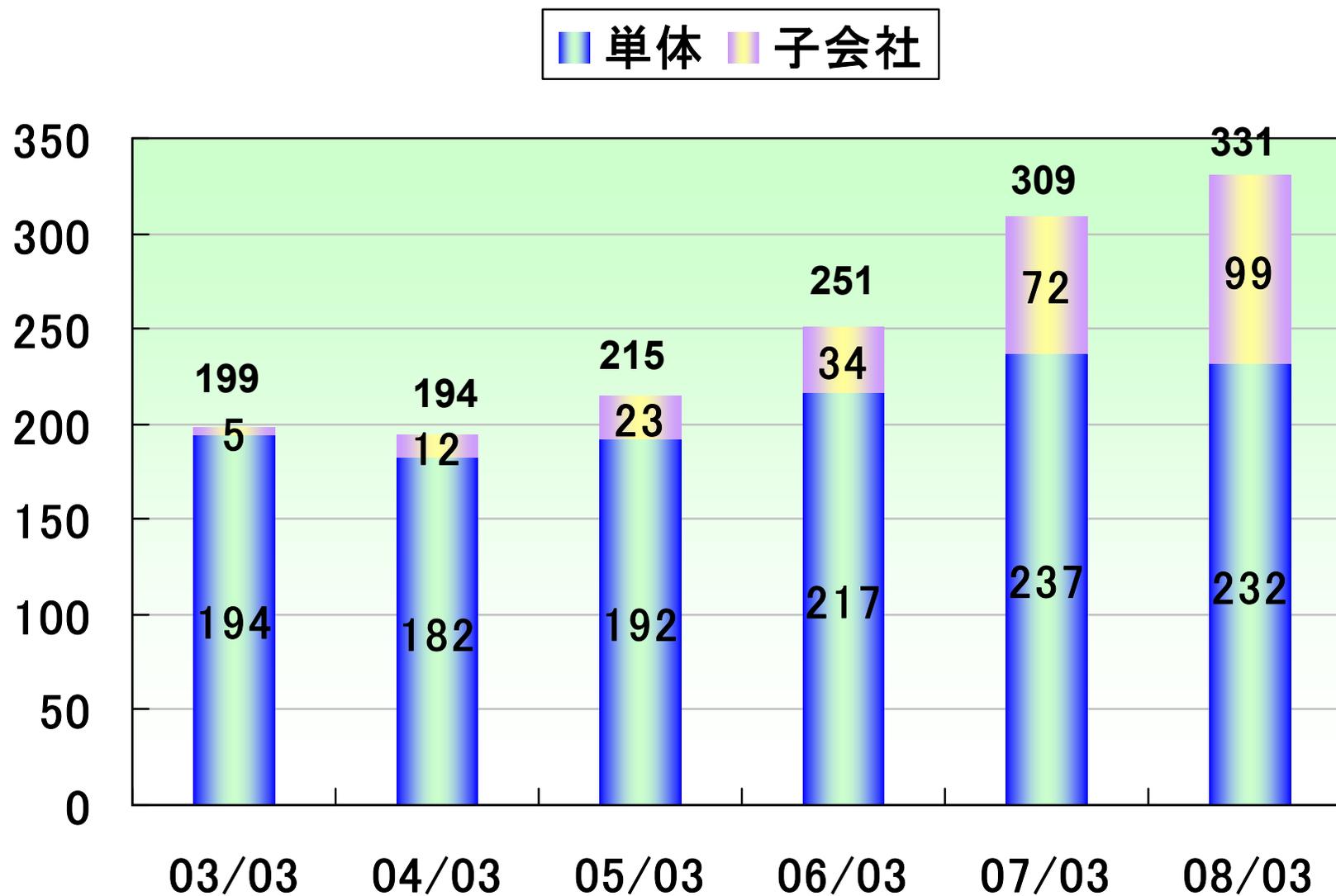
売上高・営業利益・営業利益率の推移



営業利益及び販管費の推移



人員数の推移



貸借対照表 要約 (連結)



(百万円、%)	07/3月		08/3月		対07/3月 増減額
		構成比		構成比	
流動資産	5,912	62.1	6,540	60.3	628
現金及び預金	1,648	17.3	2,064	19.0	415
受手及び売掛金	2,984	31.3	3,218	29.7	233
たな卸資産	963	10.1	972	9.0	9
固定資産	3,606	37.9	4,311	39.7	704
有形固定資産	2,855	30.0	3,140	28.9	285
投資その他の資産	726	7.6	1,144	10.5	417
資産合計	9,518	100.0	10,851	100.0	1,333
流動負債	3,412	35.9	3,653	33.7	241
支手及び買掛金	1,971	20.0	1,888	17.4	△83
短期借入金	440	4.6	835	7.7	395
固定負債	829	8.7	1,878	17.3	1,048
長期借入金	300	3.1	1,147	10.6	847
負債合計	4,242	44.6	5,532	51.0	1,289
純資産(資本)合計	5,275	55.4	5,319	49.0	43
負債・純資産合計	9,518	100.0	10,851	100.0	1,333
自己資本比率	54.9%		48.7%		

キャッシュ・フローの状況（連結）



(百万円)	07/3月	08/3月
営業活動によるキャッシュフロー	548	382
投資活動によるキャッシュフロー	△971	△1,251
財務活動によるキャッシュフロー	△279	1,078
現金及び現金同等物の期末(中)残高	1,648	1,855

営業活動

税引前当期純利益	573百万円	売上債権の増加	△233百万円
たな卸資産の増加	5百万円	法人税等支払	△440百万円

投資活動

有形固定資産取得による支出	△474百万円
投資有価証券取得による支出	△629百万円

財務活動

株式の発行収入	19百万円	長期借入金の返済	△545百万円
配当金の支払	△175百万円	長期借入	1,740百万円



中期経営計画

09/3月期～11/3月期

国内

海外

エレクトロニクス 産業

- 全体として横ばい
- ハイエンド基板は成長が見込まれる。

- 韓国は順調に成長傾向
- 中国は基板市場全体が成長の見込み
- 台湾はハイエンド基板市場の成長が見込まれる

自動車産業

- 自動車の生産台数は国内向けが減少、輸出が増加
- めっき薬品の売上は横ばいの見込み

- 中国ほかの新興国において市場は拡大の見込み

中期経営計画 09年3月期～11年3月期

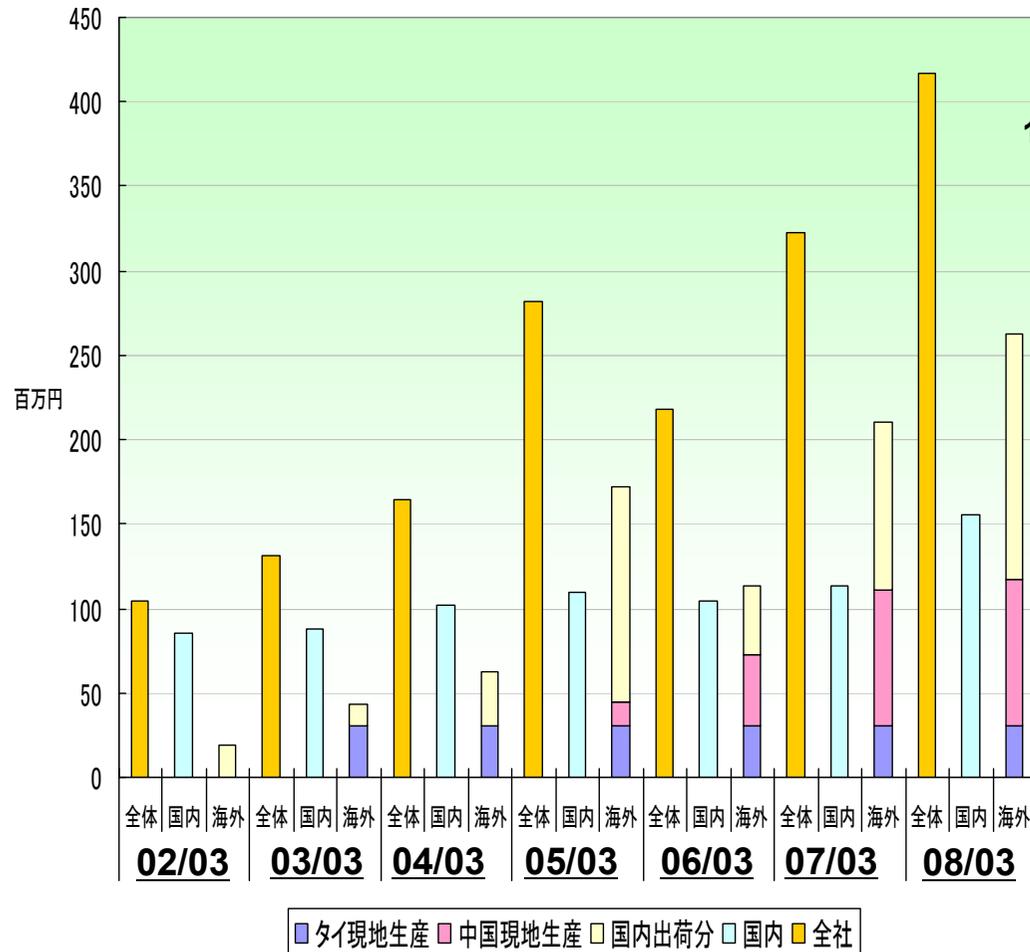


	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3
売上高	8,546	9,677	10,244	12,566	14,601	16,345
営業利益	1,080	1,023	687	1,090	1,489	1,734
営業利益率	12.6%	10.6%	6.7%	8.7%	10.2%	10.6%

主力製品の海外売上成長

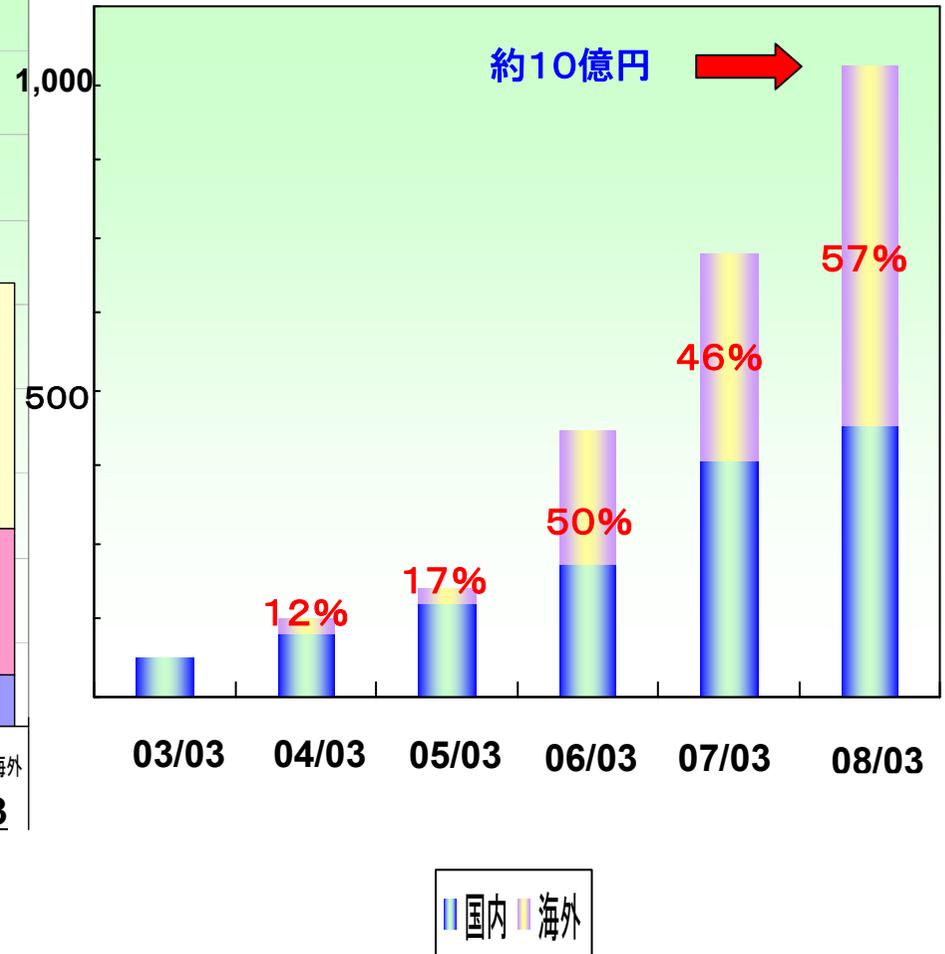


POP用めっき薬品売上推移

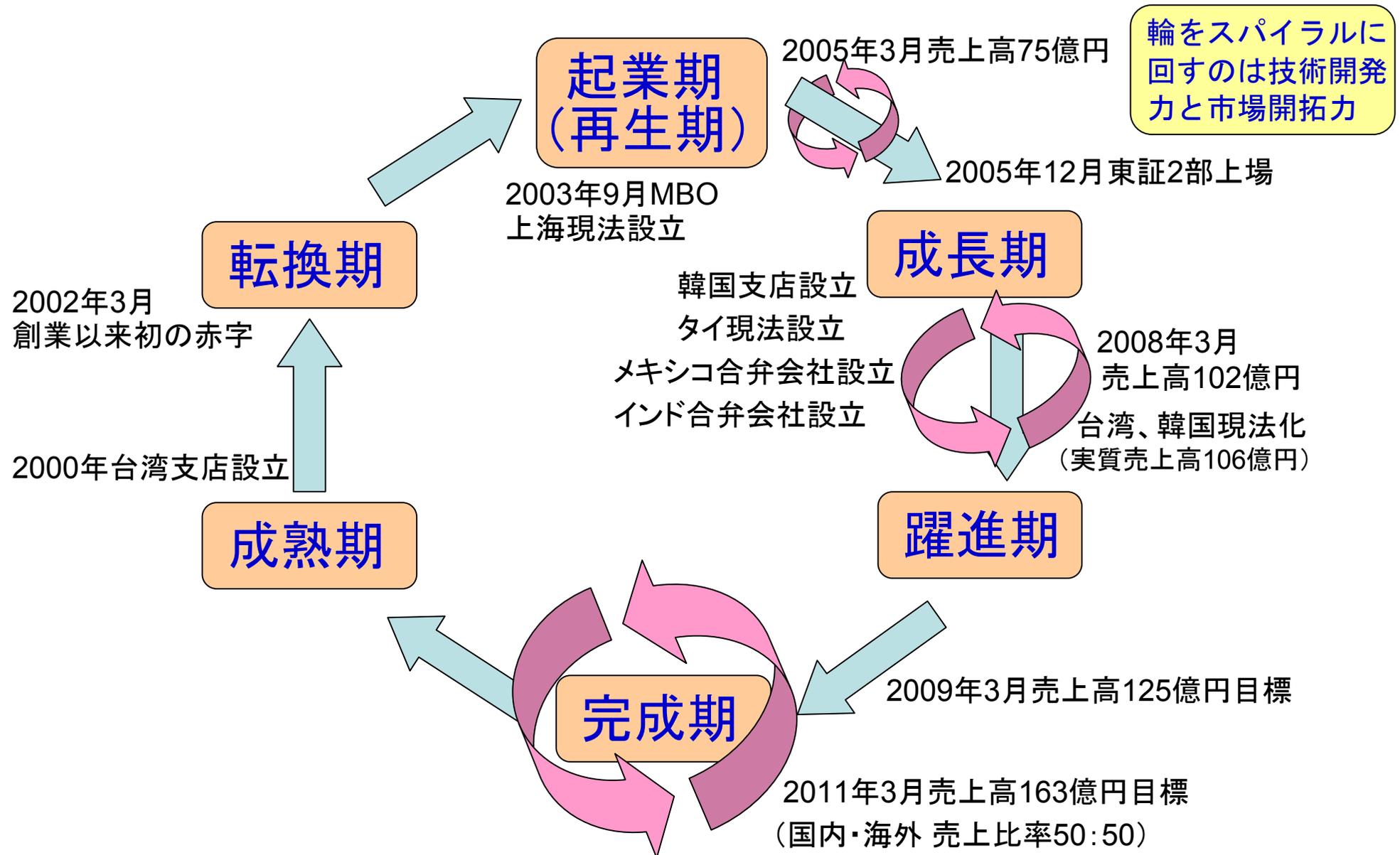


ビアフィル用銅めっき薬品売上推移

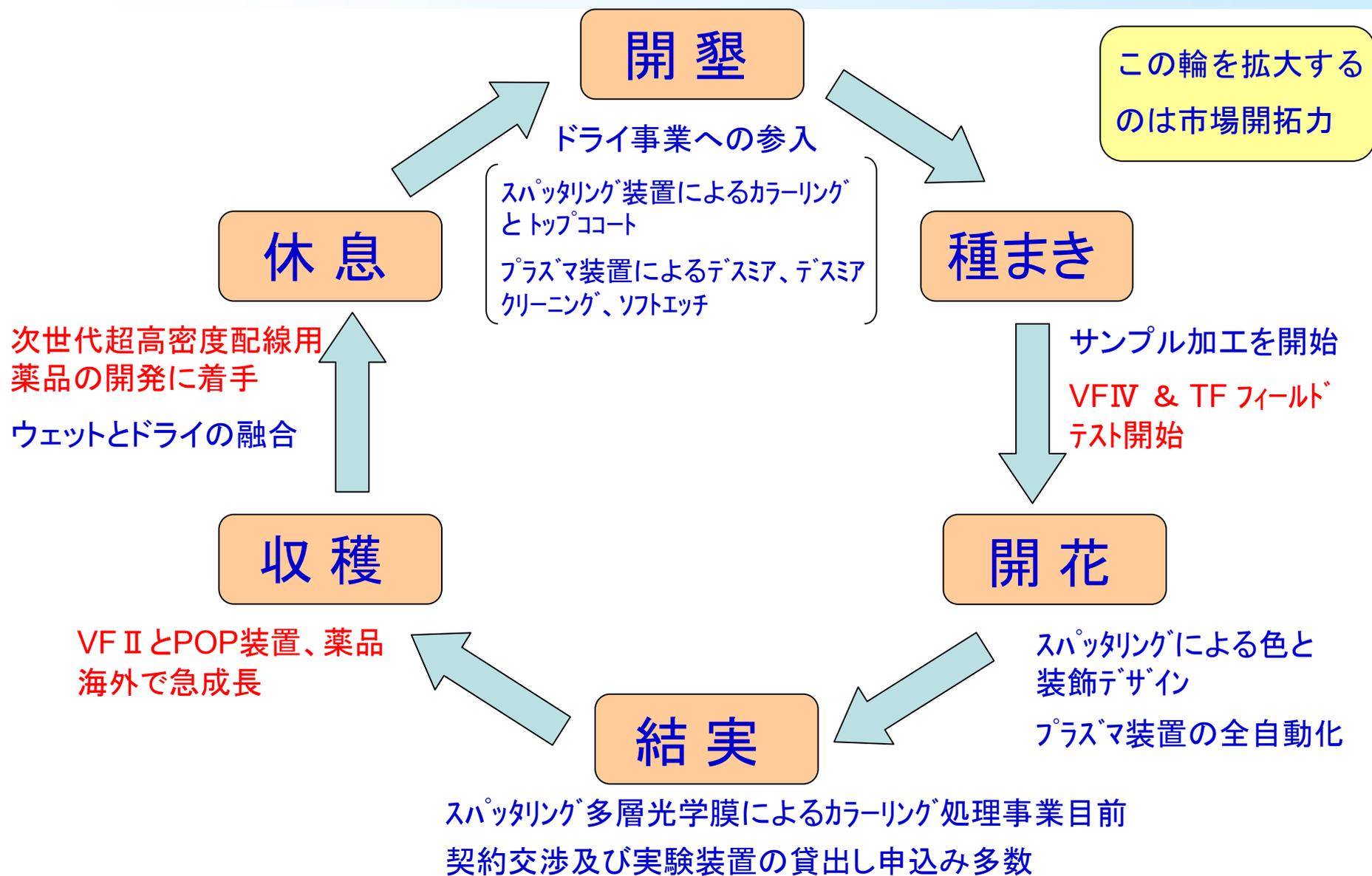
百万円



当社のライフサイクルと再生・継続



研究開発の継続と商品サイクル



ウェットプロセスとドライプロセスを融合する 表面処理総合メーカーへ

市場の開拓

研究開発

2011年3月期目標数値

売上高 … 163億円

営業利益率 … 10%超

09/3月期事業計画(連結)



(百万円)	08/3月期	09/3月期 計画		対前年比(%)
			対売上比(%)	
売上高	10,244	12,566	100.0	122.7
売上総利益	4,616	5,475	43.6	118.7
販管費	3,929	4,384	34.8	111.5
営業利益	687	1,090	8.7	158.6
経常利益	627	1,022	8.1	162.8
当期利益	291	633	5.0	217.3

セグメント別売上計画(連結)

単位:百万円(前年比)

薬品関連資材事業	薬品	7,802(13.0%増加)
	仕入	1,374(16.2%増加)
装置事業	めっき装置	2,920(35.3%増加)
	ドライ装置	468(ー)

飛躍:ドライ事業の具体化 スパッタリング装置

- カラーリング用スパッタリング装置の一般販売は継続性に問題があり、合併事業による加工業に進出する。
- 合併会社へのスパッタリング装置の販売と合併会社からの配当により収益を得る。



飛躍:ドライ事業の具体化 プラズマ装置

- 新規事業として、プリント配線板業界へのめっきの前処理用としてプラズマ装置を販売する。
- ハイエンド基板においてはウェットによるめっき前処理に限界があり、不良率が高い。
- ウェット技術とドライ技術との融合という新たなアプローチによりこの問題を解決し、新規顧客の獲得を目指す。





JAPAN: Cherry Blossoms



CHINA: Peony



INDIA: Lotus

海外 ネットワーク



MEXICO: Dahlia



THAILAND: Rainbaphisak



VIETNAM: Lotus



TAIWAN: Plum



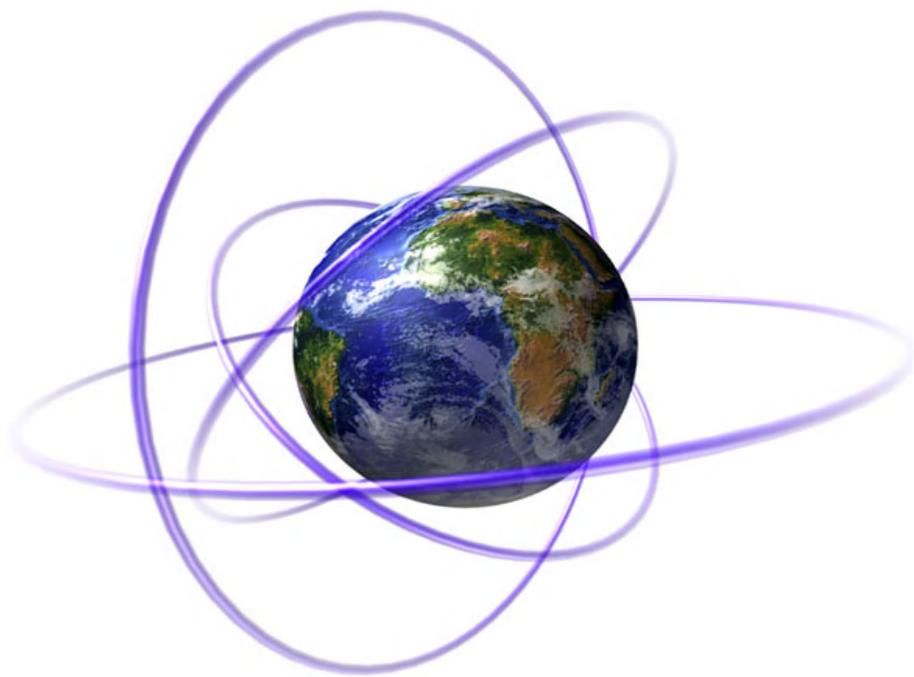
KOREA: Hibiscus Tigrinus

21年3月期中間・期末配当予想

	1株あたり配当金		
	中間	期末	年間
平成21年3月期	30円	30円	60円
平成20年3月期 (実績)	30円	30円	60円

今後も、業績に応じて積極的に株主様への還元を行っていく方針でございます。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



当社ホームページ
のご案内

<http://www.eu.ebara.com/>